

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年5月14日
【四半期会計期間】	第19期第1四半期（自平成27年1月1日至平成27年3月31日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青野慶久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03-4306-0808
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中根弓佳
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03-4306-0808
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中根弓佳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第18期 第1四半期連結 累計期間	第19期 第1四半期連結 累計期間	第18期
会計期間	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 3月31日	自 平成27年 1月1日 至 平成27年 3月31日	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 12月31日
売上高 (千円)	1,582,234	1,797,751	5,965,067
経常利益 (千円)	399,753	400,089	7,118
四半期(当期)純利益 (千円)	309,448	221,001	11,359
四半期包括利益又は包括 利益 (千円)	290,146	221,223	87,478
純資産額 (千円)	3,811,731	3,663,865	3,611,474
総資産額 (千円)	5,339,633	5,362,718	5,919,382
1株当たり四半期(当 期)純利益 (円)	6.74	4.82	0.25
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	71.4	68.3	61.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当社グループは引き続き、クラウド事業の拡大およびグループウェア製品の機能強化に注力しております。

2011年11月に提供を開始したクラウドサービス「cybozu.com」は、ご利用いただいている契約社数が10,000社を突破いたしました。サービス開始当初は中小企業様で採用いただくことが多かったものの、昨年より1,000ユーザー規模でご契約いただく企業様が増えてまいりました。今後も大規模な企業での採用や継続的に利用いただくお客様の増加を見越し、大量なデータ保持を実現するためストレージやバックアップの再構成を図るなど、運用基盤の大規模化に向け開発を進めてまいります。

このような状況下において、当第1四半期連結累計期間の連結業績については、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が積み上がり、売上高は1,797百万円（前年同期比13.6%増）となりました。このうちクラウド関連事業の売上高は575百万円（前年同期比69.6%増）となっております。利益項目については、前期に引き続き当第1四半期も広告宣伝投資を積極的に行い、営業利益は399百万円（前年同期比0.4%増）、経常利益は400百万円（前年同期比0.1%増）となりました。また、四半期純利益については、震災関連の寄付金8百万円を特別損失に計上し、221百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

#### (2) 財政状態

資産の部については、当第1四半期連結累計期間中に広告費等の未払金や未払賞与及び配当金の支払いを行い、現金及び預金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ556百万円減少し、5,362百万円となりました。

負債の部については、当第1四半期連結累計期間中に広告費等の未払金や未払賞与の支払いを行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ609百万円減少し、1,698百万円となりました。

純資産の部については、当第1四半期連結累計期間に221百万円の四半期純利益を計上したこと、また、168百万円の剰余金配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、3,663百万円となり、自己資本比率は68.3%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は50百万円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	193,428,000
計	193,428,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,757,800	52,757,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	52,757,800	52,757,800	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年1月1日～ 平成27年3月31日	-	52,757,800	-	613,810	-	976,765

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成26年12月31日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成27年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,879,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 45,877,300	458,773	-
単元未満株式	普通株式 1,100	-	-
発行済株式総数	52,757,800	-	-
総株主の議決権	-	458,773	-

(注)「単元未満株式」には、当社所有の自己株式35株を含んでおります。

【自己株式等】

平成27年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽 1丁目4番14号	6,879,400	-	6,879,400	13.04
計	-	6,879,400	-	6,879,400	13.04

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年1月1日から平成27年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,120,583	1,891,991
受取手形及び売掛金	853,241	1,077,450
仕掛品	1,403	64
原材料及び貯蔵品	20,205	16,166
繰延税金資産	87,988	26,839
その他	257,570	303,401
貸倒引当金	953	1,199
流動資産合計	4,340,040	3,314,714
固定資産		
有形固定資産	387,130	574,717
無形固定資産		
ソフトウェア	107,387	102,767
ソフトウェア仮勘定	23,801	25,748
その他	8,052	7,952
無形固定資産合計	139,241	136,469
投資その他の資産		
投資有価証券	199,842	195,784
敷金及び保証金	459,299	763,988
繰延税金資産	388,132	370,811
破産更生債権等	284	319
その他	5,778	6,232
貸倒引当金	365	319
投資その他の資産合計	1,052,971	1,336,816
固定資産合計	1,579,342	2,048,003
資産合計	5,919,382	5,362,718
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,885	9,125
未払金	817,001	250,945
未払費用	352,908	152,004
未払法人税等	13,879	9,633
前受金	984,620	1,023,497
役員賞与引当金	20,200	-
その他	111,413	253,645
流動負債合計	2,307,908	1,698,852
負債合計	2,307,908	1,698,852
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,653,855	3,706,024
自己株式	1,799,965	1,799,965
株主資本合計	3,444,465	3,496,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,148	8,648
為替換算調整勘定	158,860	158,582
その他の包括利益累計額合計	167,008	167,231
純資産合計	3,611,474	3,663,865
負債純資産合計	5,919,382	5,362,718

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,582,234	1,797,751
売上原価	162,862	129,661
売上総利益	1,419,371	1,668,089
販売費及び一般管理費		
人件費	489,480	591,152
業務委託費	51,362	88,150
広告宣伝費	183,662	256,969
貸倒引当金繰入額	49	221
その他	297,255	332,564
販売費及び一般管理費合計	1,021,810	1,269,059
営業利益	397,561	399,030
営業外収益		
受取利息	326	453
受取手数料	472	496
還付消費税等	1,302	981
為替差益	-	3,225
その他	301	83
営業外収益合計	2,402	5,240
営業外費用		
為替差損	210	-
持分法による投資損失	-	4,179
その他	-	1
営業外費用合計	210	4,181
経常利益	399,753	400,089
特別利益		
関係会社株式売却益	32,024	-
特別利益合計	32,024	-
特別損失		
寄付金	8,000	8,000
特別損失合計	8,000	8,000
税金等調整前四半期純利益	423,777	392,089
法人税、住民税及び事業税	7,540	92,928
法人税等調整額	106,788	78,160
法人税等合計	114,328	171,088
少数株主損益調整前四半期純利益	309,448	221,001
四半期純利益	309,448	221,001



【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	309,448	221,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,831	499
為替換算調整勘定	15,470	277
その他の包括利益合計	19,302	222
四半期包括利益	290,146	221,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,146	221,223

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
減価償却費	60,674千円	107,118千円
のれん償却額	319千円	-千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月26日 定時株主総会	普通株式	94,509	206	平成25年12月31日	平成26年3月27日	利益剰余金

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。なお、平成25年12月31日を基準日とする1株当たり配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月26日 定時株主総会	普通株式	168,832	3.68	平成26年12月31日	平成27年3月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	6円74銭	4円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	309,448	221,001
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	309,448	221,001
普通株式の期中平均株式数(株)	45,878,400	45,878,365

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 5月14日

サイボウズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 塚原 克 哲 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 和 充 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成27年1月1日から平成27年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成27年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。